

保険代理店「株式会社ジーライフ」代表取締役 小川 剛の

保険のGOOD!なお話 vol.1

はじめまして。保険代理店をやっておりますジーライフの小川と申します。私からは皆様に保険のGoodなお話をお伝えしていければと思っております。

私事ですが、つい最近小学校4年生の娘が、区立図書館で借りてきたお魚図鑑に



ジュースをこぼしてしまいい汚損させてしまうできごとがありました。図書館に相談したところ弁償してほしいとなり、3万円を請求されました。

かわいい娘のしたことですし、悪気はなくても借りたものなので致し方ないと思いましたがちょっと痛い出費です。そこでピンと来たのが、今私が加入している個人賠償保険で補償されないかということでした。この個人賠償保険というのは、被保険者個人が起こした第三者への賠償事故を補償するという保険です。例えば、小学生の息子がサッカー

ボールを蹴って通行人の頭にあたりケガをさせた、高校生の娘が自転車でおぼろちゃんをひいて大ケガをさせてしまった、旅行のホテルで浴槽のお湯をあふれさせ部屋を水浸しにした、お父さんがゴルフフラウンド中に打ったゴルフボールが他のプレイヤーに当たりケガをさせた等、いろんな事故で補償される保険です。

今回の図書館で借りた図鑑の弁償費用も、保険会社に請求し、私が加入している個人賠償保険で補償されるということになりました。この保険は契約者



(＝被保険者)と同居の親族まで補償されるため、同じ世帯内なら誰か一人が入っていれば全員が守られます。個人賠償保険は損害保険会社の商品で、この保険単品でも取り扱っている損害保険会社はありますが、ほとんどが火災保険や自動車保険や傷害保険といった保険商品の特約として取り扱っています。ここでもし個人賠償保険に加入するのであれば、自動車保険の特約でセットすることをオススメします！なぜなら自動車保険にセットした場合、保険金額は無制限で示談交渉まで保険会社が行い、しかもどんなにこの保険を使っても等級が下がらないから、自動車保険の保険料はあがりません！

これが火災保険や傷害保険、もしくは単品商品の場合は示談交渉を保険会社が行わないため大きな事故の時は、すべて自分で交渉しなくてはならなく、とても大変なことになります。個人賠償保険を検討されるなら自動車保険にお付けするのがやはりオススメです

す。

今話題の自転車保険もこの個人賠償保険の中で補償されます。

それから同じ世帯内であれば誰か一人がどれか一つに加入していればいいので、複数の保険に個人賠償保険を付けている場合、保険料のムダが発生していることがあるので見直してみたいかがでしょうか。

個人賠償保険は保険料も非常に安く、補償は非常に広い範囲をカバーできる保険です。

一家に一つ入っていれば皆安心して生活ができる保険ですね。

G 株式会社ジーライフ

〒261-7114
千葉県美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト14階
☎ 043-445-7710 📞【平日】9:00~17:00

小川 剛 プロフィール

外資系企業AIGグループのシティーバンクからAIG損害保険株式会社(旧AIU損保)の外務員を経て、昨年12月に独立起業。株式会社ジーライフとして保険代理店の代表取締役を務める。

